

温泉分析書
(鉱泉分析試験による分析成績)

報告書No. K2500795
2025年5月28日

申請者: (住所) 沖縄県那覇市泊1丁目3-2 沖縄ゼネラルグループビル1階
(氏名) 有限会社宝栄興業
源泉名: 追子野木源泉
湧出地: 青森県黒石市大字追子野木2丁目336湧出、源泉井戸から採水

1. 湧出地における調査及び試験成績

- (1) 調査及び試験者: 環境保全株式会社 須々田 雄斗
(3) 泉温: 34.5 °C (気温: 20.0 °C)
(利用時の温度: - °C)
(6) 知覚的試験: 無色透明、無味無臭

- (2) 調査及び試験年月日: 2025年5月8日
(4) 湧出量: 測定不能/動力揚湯(掘削動力揚湯)
(5) pH値: 8.2

2. 試験室における試験成績

- (1) 試験者: 環境保全株式会社 高橋 知行
(3) 知覚的試験: 無色透明、無味無臭(試料採水 34時間後)
(4) 密度: 0.998 g/cm³(20°C/4°C)
(6) 蒸発残留物: 0.213 g/kg (110°C)

- (2) 分析終了年月日: 2025年5月21日
(5) pH値: 8.4
(7) 電気伝導度: 17.9 mS/m

3. 試料1kg中の成分:分量及び組成

(1) 陽イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)
水素イオン(H ⁺)	-	-	-
ナトリウムイオン(Na ⁺)	28.0	1.22	69.32
カリウムイオン(K ⁺)	2.1	0.05	2.84
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	0.2	0.02	1.14
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	9.4	0.47	26.70
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
陽イオン計	39.7	1.76	100.00

(2) 陰イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)
フッ化物イオン(F ⁻)	0.2	0.01	0.53
塩化物イオン(Cl ⁻)	10.3	0.29	15.51
水酸化物イオン(OH ⁻)	-	-	-
硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	9.4	0.20	10.70
炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	68.2	1.12	59.89
炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	7.5	0.25	13.37
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
陰イオン計	95.6	1.87	100.00

(3) 遊離成分

・非解離成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタケイ酸(H ₂ SiO ₃)	133.3	1.71
メタホウ酸(HBO ₂)	0.0	0.00
メタ亜ヒ酸(HAsO ₂)	0.0	0.00
非解離成分計	133.3	1.71

溶存物質(ガス性のものを除く): 0.269 g/kg

・溶存ガス成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素(CO ₂)	2.7	0.06
遊離硫化水素(H ₂ S)	-	-
溶存ガス成分計	2.7	0.06

成分総計: 0.271 g/kg

(4) その他微量成分

リチウムイオン(Li ⁺)	< 0.1	mg/kg
アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)	0.04	mg/kg
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	< 0.05	mg/kg
マンガンイオン(Mn ²⁺)	< 0.05	mg/kg
総鉄イオン(Fe ²⁺ +Fe ³⁺)	0.03	mg/kg
銅イオン(Cu ²⁺)	< 0.005	mg/kg
亜鉛イオン(Zn ²⁺)	< 0.005	mg/kg
カドミウムイオン(Cd ²⁺)	< 0.001	mg/kg
鉛イオン(Pb ²⁺)	< 0.002	mg/kg
臭化物イオン(Br ⁻)	< 0.05	mg/kg
ヨウ化物イオン(I ⁻)	< 0.1	mg/kg
チオ硫酸イオン(S ₂ O ₃ ²⁻)	< 0.1	mg/kg
亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻)	< 0.1	mg/kg
硝酸イオン(NO ₃ ⁻)	< 0.1	mg/kg
リン酸水素イオン(HPO ₄ ²⁻)	< 0.1	mg/kg
総水銀(T-Hg)	< 0.00005	mg/kg

4. 泉質: 単純温泉(低張性弱アルカリ性温泉)

5. 禁忌症、適応症等は別表に示す。

6. 加水等の使用状況

加水: -
加温: -
循環利用: -
ろ過: -
消毒処理: -
入浴剤等使用: -

温泉成分分析登録機関: 青森県第3号

環境保全株式会社

青森県平川市松崎西田 41-10

TEL: 0172-43-1100 FAX: 0172-43-1166

代表取締役 竹内 司

温泉分析書別表

- I. 源泉名：追子野木源泉
- II. 源泉所在地：青森県黒石市大字追子野木2丁目336
- III. 温泉分析申請者：有限会社宝栄興業
 沖縄県那覇市泊1丁目3-2 沖縄ゼネラルグループビル1階
- IV. 泉質：単純温泉(低張性弱アルカリ性温泉)

V. 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症は次のとおりである。

1. 温泉の一般的禁忌症(浴用)

病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期

2. 泉質別禁忌症

浴用の禁忌症

なし

3. 療養泉の一般的適応症(浴用)

筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進

4. 泉質別適応症

浴用の適応症

自律神経不安定症、不眠症、うつ状態

5. 浴用の方法及び注意

温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。

(1) 入浴前の注意

- ① 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
- ② 過度の疲労時には身体を休めること。
- ③ 運動後30分程度の間は身体を休めること。
- ④ 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。
- ⑤ 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
- ⑥ 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

(2) 入浴方法

- ① 入浴温度
 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。
- ② 入浴形態
 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。
- ③ 入浴回数
 入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。
- ④ 入浴時間
 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。

(3) 入浴中の注意

- ① 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
- ② 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。
- ③ めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。

(4) 入浴後の注意

- ① 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと。)
- ② 脱水症状等为了避免するため、コップ一杯程度の水分を補給すること。

(5) 湯あたり

温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。

(6) その他

浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

(注1) この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

(注2) この温泉を公共の浴用又は飲用に供するときは、温泉法第15条による知事の許可を必要とする。